

地域の道路、河川などの愛護活動に功績のあった個人・団体に対して贈られる「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動」島根県知事表彰を、馬木地区 上市常会が受賞されました。

上市常会では、平成19年から主要地方道玉湯吾妻山線沿線の路肩、法面一帯の草刈り等を地域をあげて積極的に取り組まれ、長期にわたり道路美化に多大な貢献をされたことが高く評価され、丸山知事から感謝状が渡されました。



8月20日に行われた島根県庁での受賞式の様子

11月は児童虐待防止推進月間です

「しつけ」とは、子どもの人格や才能などを伸ばし、社会において自立した生活を送れるようにすることなどの目的から子どもをサポートして社会性を育む行為です。しかし、「しつけ」が行き過ぎると「虐待」に当たることもあります。次のような行為が「虐待」と定義されています。

◎身体的虐待

・首を絞める、殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、熱湯をかける、布団蒸しにする、溺れさせる、逆さ吊りにする、異物を飲ませる、食事を与えない、戸外にしめだす、縄などにより一室に拘束する。 など

◎性的虐待

・子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィーの被写体にする。 など

◎ネグレクト

・子どもの健康、安全への配慮を怠っている
 ・子どもの意思に反して学校などに登校させない。子どもが学校などに登校するように促すなどの子どもに教育を保障する努力をしない。(子どもが学校にいけない正当な理由がある場合を除く)。
 ・子どもにとって必要な情緒的欲求に応えていない(愛情遮断など)。
 ・食事、衣服、住居などが極端に不適切で、健康状態を損なうほどの無関心・怠慢など。
 ・子どもを遺棄したり、置き去りにする。
 ・祖父母、兄弟姉妹、保護者の恋人などの同居人や自宅に出入りする第三者が虐待などの行為を行っているにもかかわらず、それを放置する。 など

◎心理的虐待

・ことばによる脅かし、脅迫など。
 ・子どもを無視したり、拒否的な態度を示すことなど。
 ・子どもの心を傷つけることを繰り返す。
 ・子どもの自尊心を傷つけるような言動など。
 ・他の兄弟姉妹とは著しく差別的な扱いをする。
 ・配偶者やその他の家族などに対する暴力や暴言。
 ・子どもの兄弟姉妹に、児童虐待を行う。 など。



◎役場の相談窓口

・子育てのご相談は結婚・子育て応援課
 有線：20-4272 電話：52-2206
 ・虐待に関する相談は福祉事務所
 有線：31-5376 電話：54-2541

虐待かもと思ったら
 児童相談所虐待対応ダイヤル(通話無料)
189

奥出雲町学生生活支援臨時給付金の申請期限は
令和2年11月30日(月)です
 (郵送の場合は当日消印有効)

期限を過ぎて申請された場合は、給付できませんので、申請がお済みでない方は、早めの申請をお願いします。
お問い合わせ
 総務課 有線:31-5224 電話:54-2505

男女共同参画山柳
 思うほど ちよっと進めば あたりまえ
 言葉は難しくても日常の何気ない行動が、すでに男女共同参画です。
寄り添えば 守れる命
 行動に移すことは難しくても相手への思いやりや寄り添いを大切にしたいですね。
 奥出雲町男女共同参画サポーター

100歳をお祝い 祝詞・記念品を贈呈

今年度100歳を迎える方のご長寿を祝い、内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、あわせて町からのお祝いの品をお贈りしました。

本町の9月1日現在での100歳以上の方は21名で、最高齢は103歳の方です。

陶山	ヨネコさん	(布勢)
恩田	麻市さん	(三成)
加村	クニヨさん	(三成)
恩田	ユキ子さん	(三成)
石原	秀江さん	(亀嵩)
藤原	千代さん	(亀嵩)
岩田	君枝さん	(亀嵩)
梅澤	房子さん	(阿井)
藤原	ヤス子さん	(阿井)
青掛	イシヨさん	(阿井)
長瀬	和子さん	(阿井)
落合	チヨノさん	(鳥上)
宇都宮	松子さん	(横田)
木原	サダコさん	(横田)
諏訪	三千江さん	(横田)
部原	利夫さん	(横田)
北村	操さん	(横田)
荒木	重之助さん	(横田)
新田	正江さん	(八川)
堀尾	アキエさん	(八川)

松田 武彦教育長 就任

9月の町議会でご同意を賜り、10月1日付けで、奥出雲町教育長に就任しました。

私は、昭和56年から中学校2校、小学校7校において教職経験を重ねてまいりました。学校での勤務が中心でしたので、教育長という町の教育行政の責任者としての職責に、経験したことのない緊張を覚えています。

ご存知のように、日本は今、人口減少、少子高齢化という大きな課題を抱えています。この課題に対応するため、現在、奥出雲町では、「次期総合計画」の策定が進められており、教育委員会においても、令和元年6月に、「奥出雲町への愛着と誇りを持ち、自らとふるさとの未来を切り拓こうとする子ども」という「奥出雲町の目指す子ども像」を定め、「奥出雲町で暮らし続けたいと思う子ども」「奥出雲町を離れても、やがて奥出雲町で暮らし続けたいと思う子ども」「奥出雲町を離れても、奥出雲町に関わり、奥出雲町を支えたいと思う子ども」「奥出雲町との関わりを誇りとし、社会に貢献しようとする子ども」の育成と、その基盤となる「生きる力」を育む教育活動の実践を目指すこととしています。

その実現のためには、町民の皆様のご理解、ご協力を得ながら、地域、学校、行政が手を取り合っていくことが重要であると考えています。

奥出雲町に生まれて良かった、奥出雲町で学んで良かった、住んで良かったと思えるまちづくりに、教育行政の立場から取り組んでまいり覚悟ですので、町民の皆様のご指導、ご鞭撻とともに、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



奥出雲仁多米(株) 新米を初出荷

9月24日、令和2年産仁多米が奥出雲仁多米(株)のコントリーエレベーターから初出荷されました。

令和2年産仁多米の販売量は、1,100トンを見込んでいます。今回12トン(業務用5トン、店頭・通販用7トン)の仁多米が、「令和2年産仁多米新米初出荷」の横断幕を掲げたトラックに積み込まれ、首都圏や関西方面へ配達されました。

奥出雲仁多米(株)の内田管理部長は、「今年は長い梅雨で日照不足が心配されたが、梅雨明け後、天候が回復し、生育の遅れをカバーすることができました。仁多米は、首都圏で『冷めても粘りや香りがあり、お米本来の味がする』と好評を得ているので、多くの方に食して頂きリーダーになっていただきたい」と熱く語られました。



JAしまねがカーブミラーを寄贈

秋の全国交通安全運動に併せ、JAしまねと共済連島根から町にカーブミラー10基が寄贈されました。

9月23日、JAしまね雲南地区本部の源之美常務理事副本部長が役場を訪れ、交通事故防止に向けた趣意書と目録を勝田町長に手渡されました。

寄贈されたカーブミラーは、各地区からの要望などを考慮して順次設置し、交通事故防止に役立てます。

JAしまね雲南地区本部 源常務理事副本部長(右)

